

三重県経済の動向（2025年4月） No. 571

【現在の景気】 足踏み状態となっている（※25年1月～3月の指標より（一部除く））

生産・輸出は足踏み状態。賃上げは高水準。雇用、個人消費は持ち直しの動き。

<当月のポイント>

- ・生産指数（2月）は前月比、前年比ともに上昇したものの、均してみれば足踏み状態。
- ・常用雇用指数（1月）は前年比29か月連続上昇。名目賃金指数（1月）は9か月連続上昇。
- ・百貨店・スーパー、コンビニ、ホームセンター販売額（2月）は前年比減少、ドラッグストア、家電大型専門店は増加。乗用車販売（3月）は3か月連続増加。家計消費（2月）は2か月連続増加。

【当面の見通し】 不透明感漂い、足踏み状態が続く。

米国の関税措置等に伴う対応や世界経済情勢への影響懸念もあり、製造業を中心に先行き不透明感が強まる。個人消費は所得環境改善による持ち直し期待もあり、非製造業の業況感は概ね堅調だが、情勢変化に伴う物価上昇の行方や内外の政策動向による影響等に留意する必要がある。

項目	基調判断			変化方向	頁
	【前々月】	【前月】	【今月】		
現在の景気 (総合判断)	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	足踏み状態となっている	→	—
1. 企業の景況感	足元は足踏み、先行きは持ち直しの動き	足元は足踏み、先行きは持ち直しの動き	足元は足踏み、先行きは持ち直しの動き	→	2
2. 生産	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	→	3
3. 輸出	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	持ち直しに足踏みがみられる	→	3
4. 設備投資	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	4
5. 企業倒産	増加の動きがみられる	増加の動きがみられる	増加の動きがみられる	→	4
6. 雇用	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	5
7. 賃金	持ち直している	持ち直している	持ち直している	→	6
8. 個人消費	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	持ち直しの動きがみられる	→	6
9. 住宅投資	弱含んでいる	弱含んでいる	弱含んでいる	→	7
10. 公共投資	持ち直している	持ち直している	持ち直しに足踏みがみられる	↘	8

※1 網掛けは前月より基調判断を変更したものの。変化方向は前月の基調判断に対する今月の基調判断の修正方向。

※2 採用指標は作成時点で発表済みの最新値を使用している。

<担当> HRI 株式会社百五総合研究所 地域調査部 谷ノ上、片山 TEL 059-228-9105

1. 景気全般

(1) 県内企業の景況感

【現状】＜足元は足踏み、先行きは持ち直しの動き＞

○当社景況調査（1月実施）では、24年度下期の業況判断BSI（変化後方）は $\Delta 5.9$ と前期比ほぼ横ばいで2期連続のマイナスとなった。業況判断DI（水準）は1-3月（実績見込み）が $+14.1$ で2桁プラスとなったものの前期（ $+22.2$ ）より低下した。

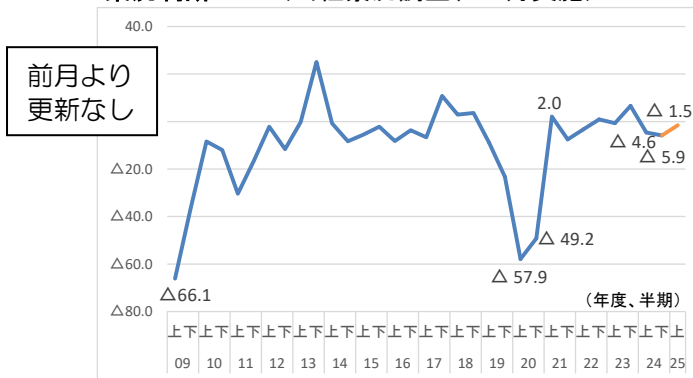
○法人企業景気予測調査（2月実施）では、1-3月期の景況判断BSIは、 $\Delta 6.0$ ポイントの「下降」超。

【見通し】

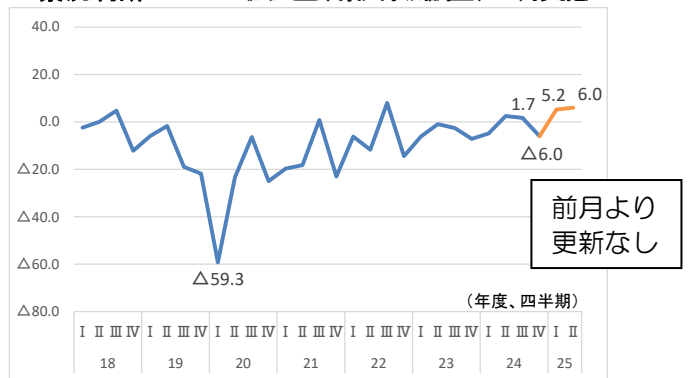
○当社景況調査では、25年度上期（見通し）の業況判断BSIは $\Delta 1.5$ となり、マイナス幅はやや縮小の見通し。業況判断DIは4-6月・7-9月（見通し）（ $+16.2$ 、 $+18.1$ ）は上向き見通し。

○法人企業景気予測調査では、4-6月期の景況判断BSIは、 5.2% ポイントの「上昇」超。

■業況判断DI（当社景況調査、1月実施）



■景況判断BSI（法人企業景気予測調査、2月実施）



資料：当社「景況調査」（25年1月、461社）、東海財務局津財務事務所「法人企業景気予測調査」（25年2月、116社）

(2) 景気動向指数

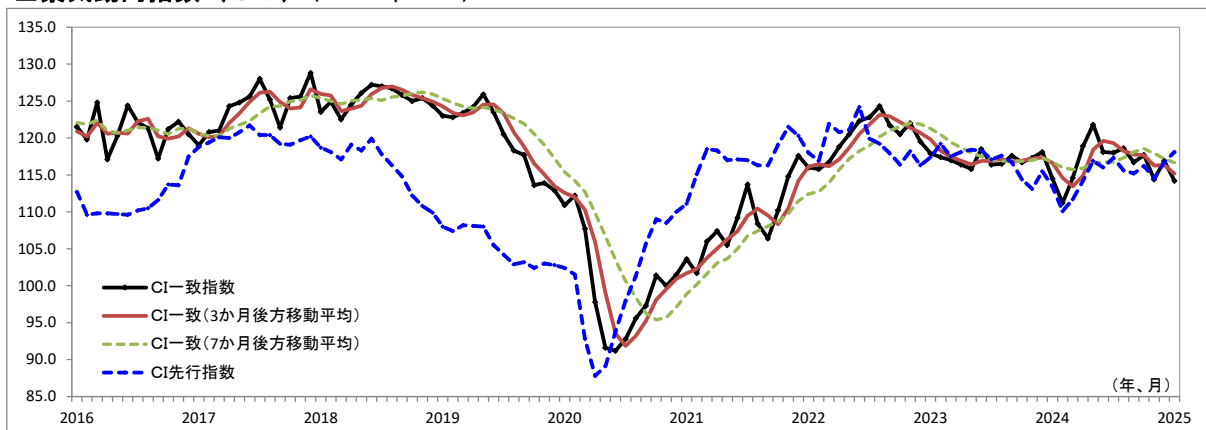
【現状】

○1月の景気動向指数（CI）一致指数は、114.2で前月差 $\Delta 2.7$ ポイント。3か月後方移動平均（ $\Delta 1.16$ ポイント）は2か月ぶりの下降、7か月後方移動平均（ $\Delta 0.56$ ポイント）は3か月連続の下降となった。三重県が内閣府の判断基準に準じて判断した基調では、「悪化」としている。

【見通し】

○1月の景気動向指数（CI）先行指数は、118.1で前月差 $+1.4$ ポイント。3か月後方移動平均（ $+0.63$ ポイント）は2か月連続の上昇、7か月後方移動平均（ $+0.30$ ポイント）は2か月ぶりの上昇となった。

■景気動向指数（CI）（2020年=100）



※複数の指標の動きを統合して単一指標で景気を把握しようとするものであり、すべての経済指標を総合的に勘案して景気を捉えようとするものではないことに留意する。「3か月後方移動平均」は足下の基調変化を表し、「7か月後方移動平均」は定着しつつある基調を表す。

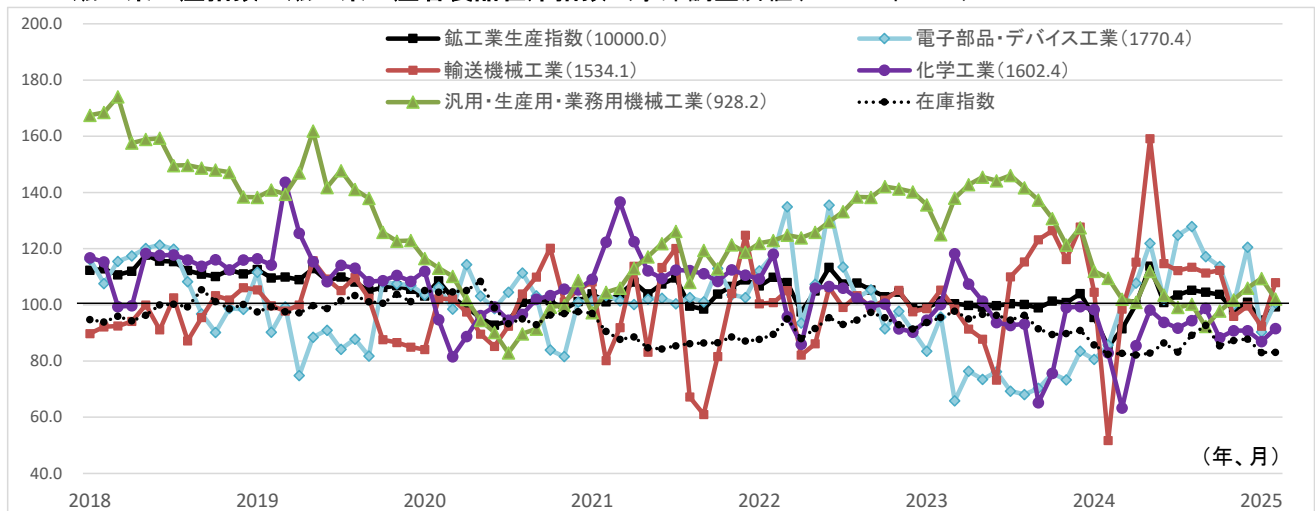
資料：三重県「三重県景気動向指数（CI）」

2. 生産

【現状】 <持ち直しに足踏みがみられる>

- 2月の鉱工業生産指数（季調済）は99.3で、前月比は+5.0%と2か月ぶりの上昇、原数値は97.6で前年比+10.4%と4か月ぶりの上昇となった。
- 生産指数を業種別にみると、輸送機械は、前月比は+16.8%と2か月ぶりの上昇、前年比では+83.0%と7か月ぶりの上昇となった。電子部品・デバイス、前月比は+11.4%と2か月ぶりの上昇、前年比では+29.5%と12か月連続の上昇となった。化学工業は、前月比は2か月ぶりの上昇、前年比では4か月連続の低下。汎用・生産用・業務用機械は、前月比5か月ぶりの低下、前年比では18か月連続の低下となった。原材料である生産財は、前月比2か月ぶりの上昇、前年比では11か月連続の上昇となった。

■ 鉱工業生産指数・鉱工業生産者製品在庫指数（季節調整済値、2020年=100）



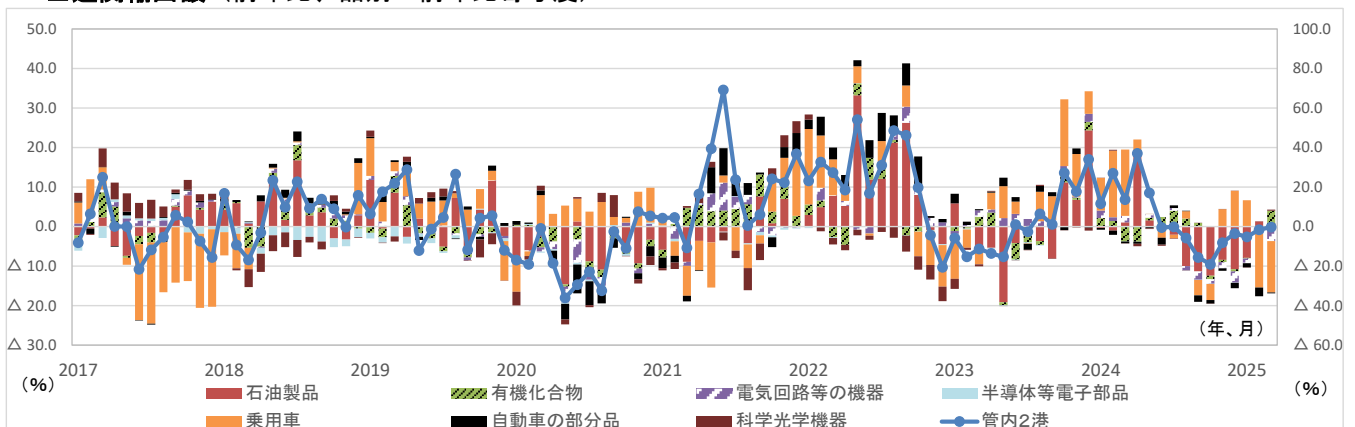
※資料：三重県「三重県鉱工業指数」

3. 輸出

【現状】 <持ち直しに足踏みがみられる>

- 3月の県内2港（四日市港（尾鷲通関分含む）+津港）の通関輸出額（速報）は、前年比△0.3%と10か月連続の減少、主要港である四日市港は△13.0%と8か月連続の減少となった。
- 四日市港の輸出主要品別にみると、有機化合物、プラスチックなどが増加に寄与したものの、乗用車のほか、電気回路等の機器、ゴム製品、一般機械、石油製品、自動車の部分品などが減少した。

■ 通関輸出額（前年比、品別：前年比寄与度）



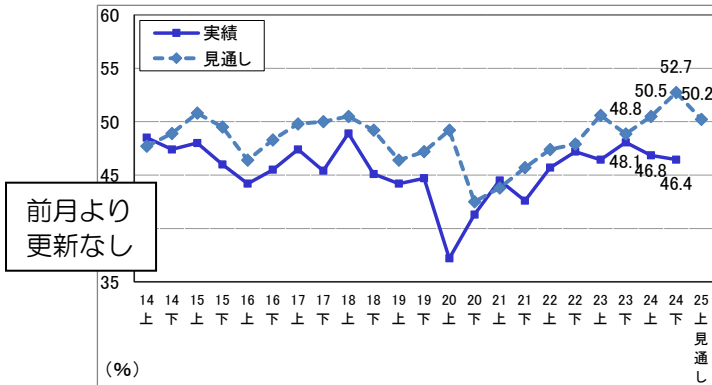
※折れ線グラフは県内2港の前年比。棒グラフは四日市港の主要品目の前年比増減寄与度。
資料：四日市税関支署「管内貿易概況」

4. 設備投資

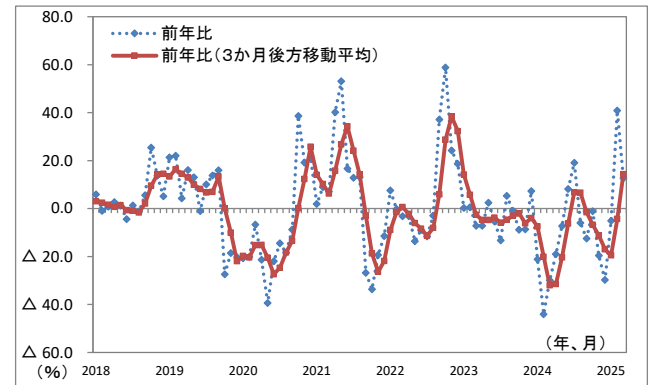
【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 当社景況調査（1月実施）では、24年度下期の設備投資実施（見込み）企業は46.4%と高水準を維持。25年度上期は50.2%に上向き見通し。法人企業景気予測調査（2月実施）では、24年度投資額は前年度比△5.1%の減少見込み。前年度（+45.7%）の反動減。25年度は+4.8%の見通し。
- 3月の貨物車新車登録・販売台数（普通+小型+軽）は前年比+12.7%となり、2か月連続の増加。普通貨物（+3.3%）は2か月連続の増加、小型貨物（+49.7%）は2か月連続の増加、軽貨物（+4.0%）は2か月連続の増加となった。
- 2月の建築物着工床面積（非居住用）は、前年比+9.2%、3か月移動平均では7か月ぶりの減少。
- 9月の地域別民間企業設備投資総合指数は、前年比2か月連続低下も、前月比では2か月連続上昇。

■ 設備投資実施企業の割合（当社景況調査）

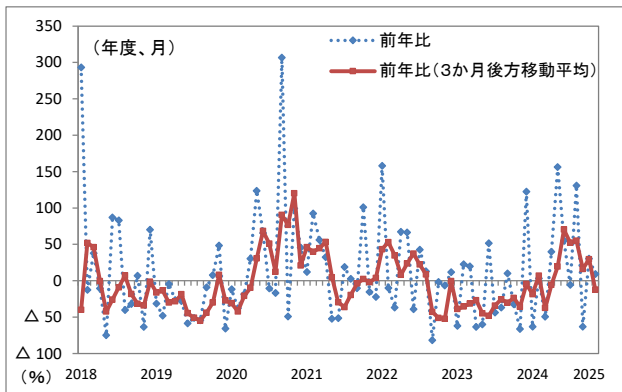


■ 貨物車新車登録・販売台数（普通・小型・軽、前年比）

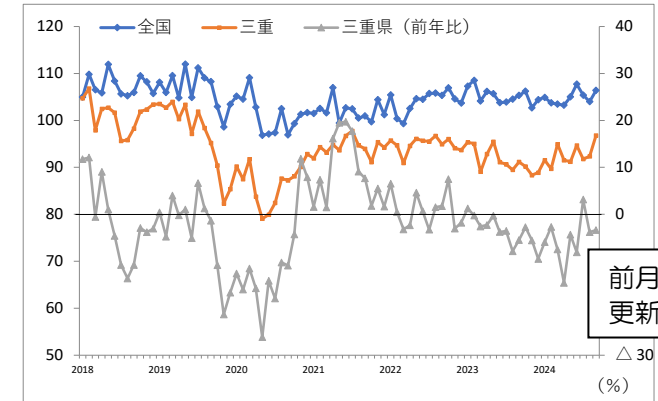


※資料：当社「景況調査」（投資額 500 万円以上）／三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■ 民間非居住用建築物着工床面積（前年比）



■ 地域別民間企業設備投資総合指数（季節調整済値）



※地域別民間企業設備投資総合指数の三重県は参考値。前年比は原数値による。公表は四半期ごと。
 ※資料：国土交通省「建築物着工統計」／内閣府「地域別支出総合指数」

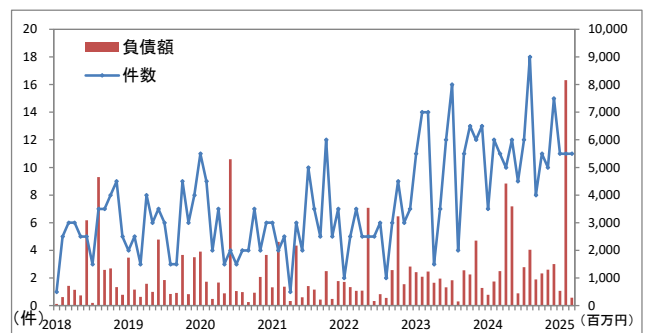
5. 企業倒産

【現状】 <増加の動きがみられる>

- 3月の企業倒産件数は11件（前年差±0）、負債額は2億84百万円（前年差△9億67百万円）となった。25年1月からの累計では、件数、負債額ともに3か月連続の増加となった。

※負債額 1,000 万円以上 資料：(株)東京商工リサーチ

■ 企業倒産件数・負債額

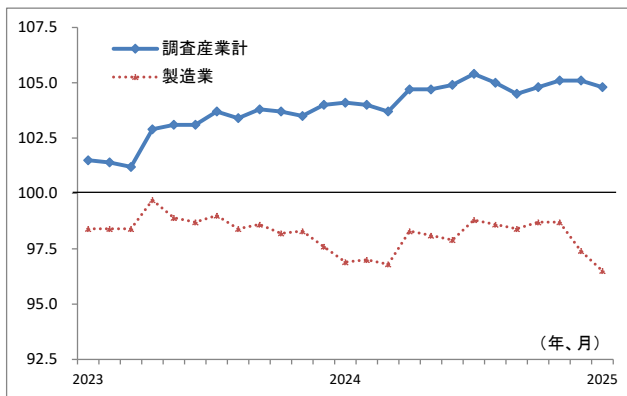


6. 雇用

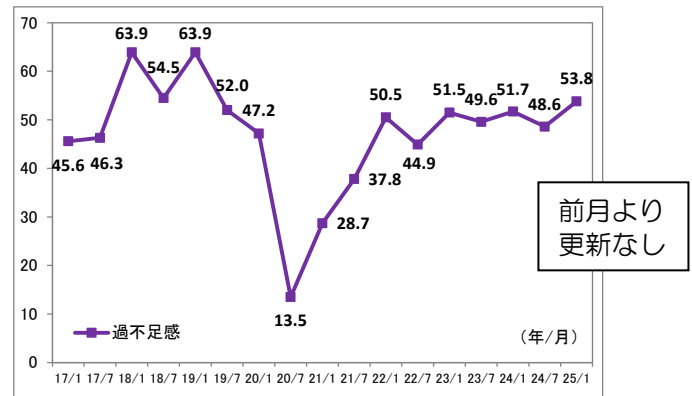
【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 1月の常用雇用指数は104.8で、前年比+0.7%となり、29か月連続の上昇となった。製造業は96.5で前年比△0.4%となり、2か月連続の低下となった。
- 当社景況調査（1月実施）では、61.2%の企業が人員は「不足・やや不足」と回答し、過不足感は+53.8と依然として高水準となっている。法人企業景気予測調査（2月実施）では、3月末の従業員数判断BSIが49.1%ポイントの「不足気味」超と、過去最高だった前回12月末とほぼ横ばい。
- ハローワークにおける2月の有効求人倍率（季調済）は1.17倍で、前月比+0.03ポイントとなった。有効求人数（原数値）は前年比△4.6%で24か月連続の減少、有効求職者数（原数値）は+0.3%で21か月連続の増加。新規求人倍率は2.01倍となり、前月比△0.12ポイントと3か月ぶりに低下した。
- 雇用保険の基本手当受給者実人員（2月）は、前年比+9.2%で3か月連続の増加となった。
- 求人情報・転職サイトdodaによると、中部地域の3月の転職求人倍率は2.50倍と、高水準ながらも前年を大きく下回った。

■常用雇用指数（2020年=100）



■人員の過不足感（不足割合－過剰割合）

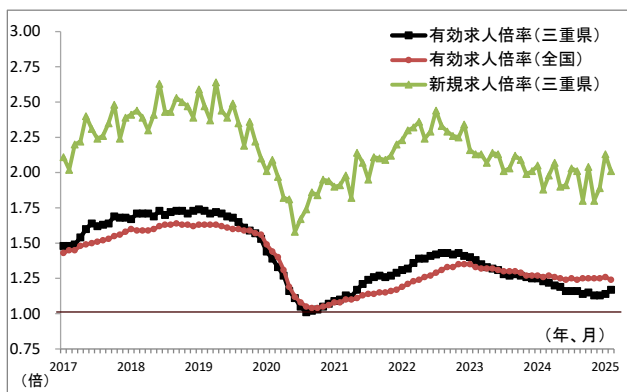


※常用雇用指数は、雇われて就業している者の数（正社員＋パートタイム労働者）を指数化したもの。2024年1月分公表時に、ベンチマーク更新に伴い過去に遡って改訂されている。

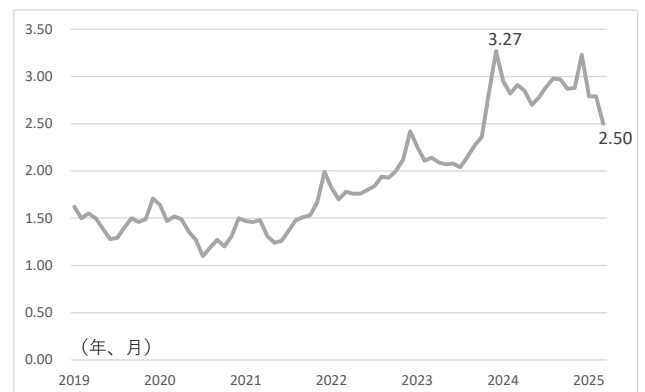
※人員の過不足感＝（「不足」＋「やや不足」の割合）－（「過剰」＋「やや過剰」の割合）

資料：三重県「毎月勤労統計調査」、当社「景況調査」

■有効求人倍率・新規求人倍率（季節調整済値）



■doda 転職求人倍率（中部地域）



※求人倍率は、新規学卒者を除きパートタイム労働者を含む。公共職業安定所への登録分。

※doda 転職求人倍率は、dodaの会員登録者（転職希望者）1名に対して、中途採用の求人が何件あるかを算出した値。

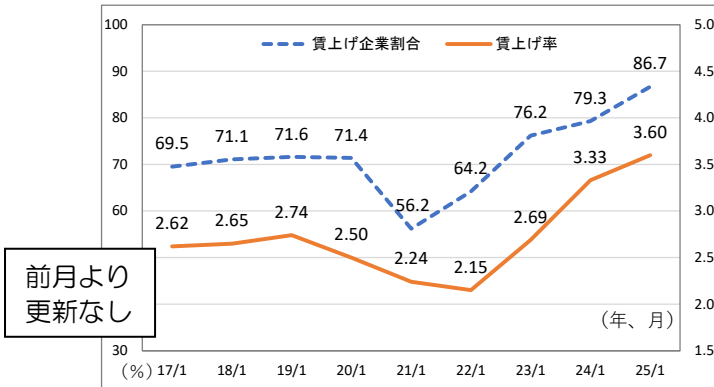
資料：三重労働局「一般職業紹介状況」、パーソルキャリア(株)「doda 転職求人倍率データ」より当社作成

7. 賃金

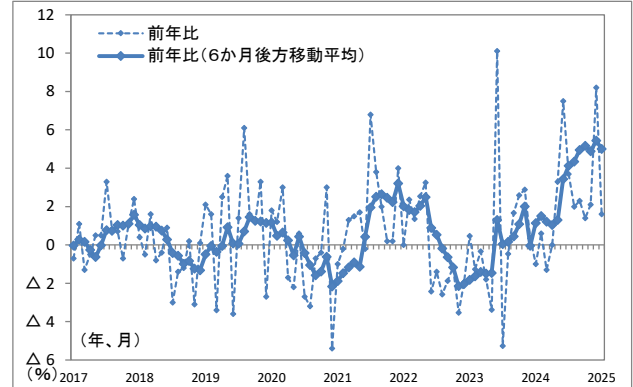
【現状】 <持ち直している>

- 当社景況調査(1月実施)では、24年度に賃金を「引き上げた」企業は86.7%と、23年中(79.3%)を上回り、賃上げ率は3.60%と前年同期より上昇した。25年度に賃金を「引き上げる方向で検討」は65.6%(24年62.5%)となり、4年連続で前年を上回った。
- 1月の名目賃金指数(現金給与総額)は、前年比+1.6%と9か月連続の上昇となった。

■賃上げ企業割合・賃上げ率(1月時点)



■名目賃金指数(現金給与総額、前年比)



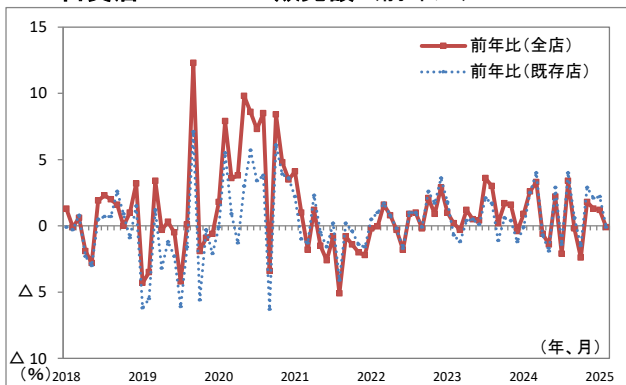
※賃上げ企業割合は、当年中に、賞与等を含む賃金を引き上げた企業の割合。賃上げ率は回答・妥結率。
 ※事業所規模5人以上、2020年=100。現金給与総額は、「きまって支給する給与」と「特別に支払われた給与」の合計。
 資料：賃上げ企業割合と賃上げ率は当社「景況調査」。賃金指数は三重県「毎月勤労統計調査」。

8. 個人消費

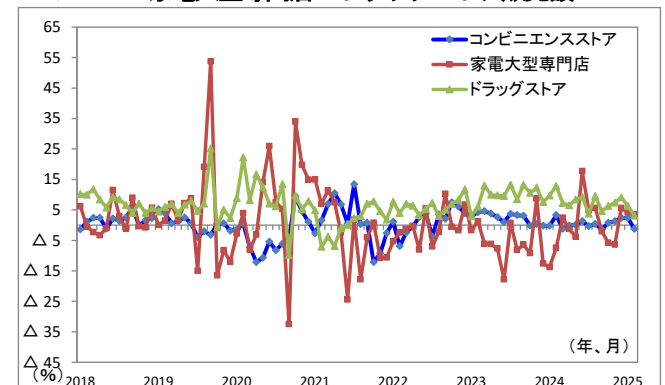
【現状】 <持ち直しの動きがみられる>

- 2月の百貨店・スーパー販売額は、全店(前年比 Δ 0.1%)、既存店(Δ 0.1%)ともに4か月ぶりの減少。
- 2月のドラッグストア販売額(+3.1%)は前年比45か月連続の増加、家電大型専門店(+3.5%)は3か月連続の増加となったが、コンビニエンスストア販売額(Δ 1.2%)は5か月ぶりの減少、ホームセンター販売額(Δ 1.9%)は4か月ぶりの減少となった。
- 3月の乗用車新車登録・販売台数(普通+小型+軽)(+10.2%)は前年比3か月連続の増加。普通(Δ 0.9%)は3か月ぶりの減少となったが、小型(+17.0%)と軽(+22.9%)は3か月連続の増加となった。
- 2月の家計消費支出(津市・勤労者世帯)(+5.5%)は前年比2か月連続の増加。
- 3月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合、津市)は、前年比+3.2%の上昇となった。

■百貨店・スーパー販売額(前年比)

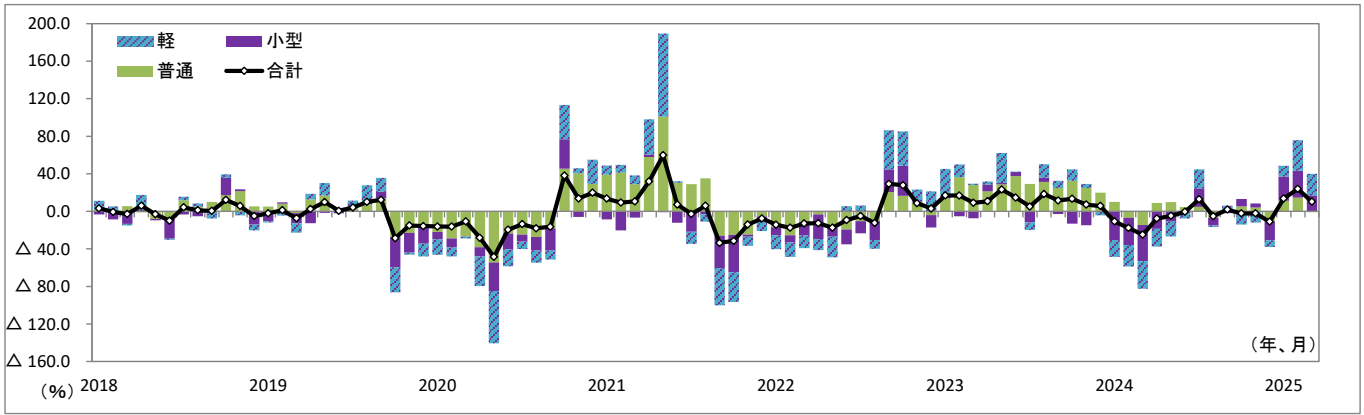


■コンビニ・家電大型専門店・ドラッグストア販売額



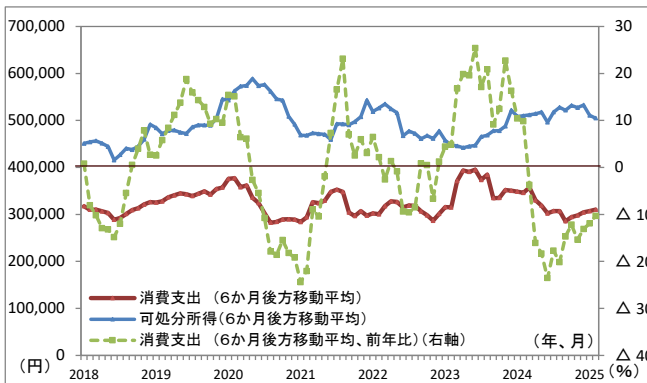
※既存店とは、調査対象事業所の定義変更及び異動(開店、廃業)があった場合、当月及び前年同月とも調査の対象となった事業所をいい、前年同月比の算出はその事業所のみで行っている。
 資料：経済産業省「商業動態統計」

■乗用車新車登録・販売台数（普通・小型・軽乗用車の合計、前年比）

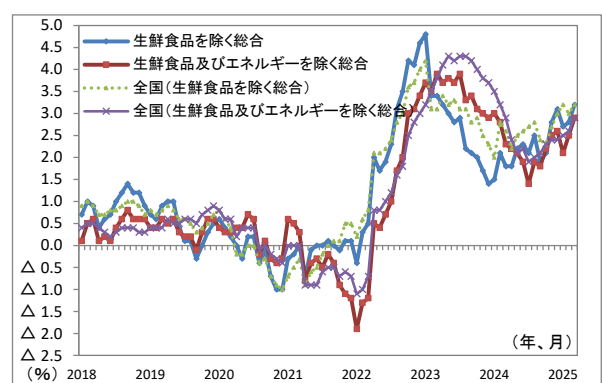


資料：三重県自動車販売協会、三重県軽自動車協会

■勤労者世帯の消費支出・可処分所得（津市）



■消費者物価指数（津市・全国、前年比）



※消費支出・可処分所得は、二人以上の世帯のうち勤労者世帯の1世帯あたりの月平均。

※津市の調査結果は、標本世帯数が少ないため、標本誤差が大きいことに留意。

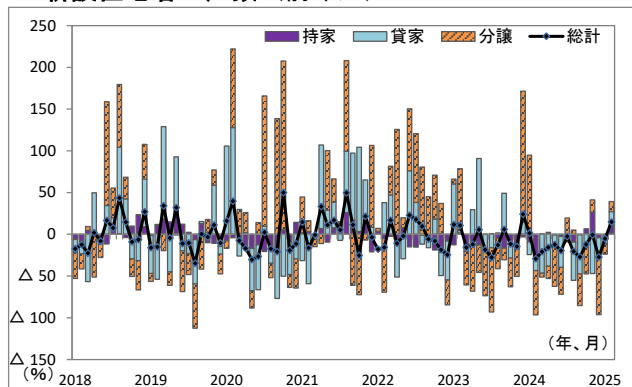
資料：三重県・総務省統計局「家計調査」、総務省「消費者物価指数」

9. 住宅投資

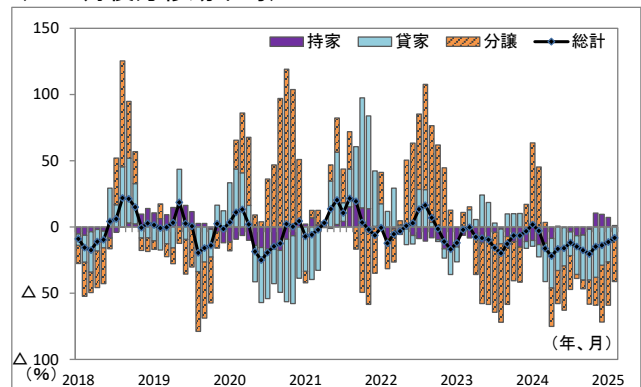
【現状】＜弱含んでいる＞

○2月の新設住宅着工戸数は、前年比+14.8%で13か月ぶりに増加したものの、3か月後方移動平均では13か月連続の減少、一昨年以前の同月と比べても水準は低い。持家（+10.1%）と分譲（+12.1%）は3か月ぶりの増加、貸家（+17.1%）は14か月ぶりの増加、床面積（+17.2%）では3か月ぶりの増加となった。

■新設住宅着工戸数（前年比）



（3か月後方移動平均）



※総計は、持家、貸家、分譲、給与住宅の合計

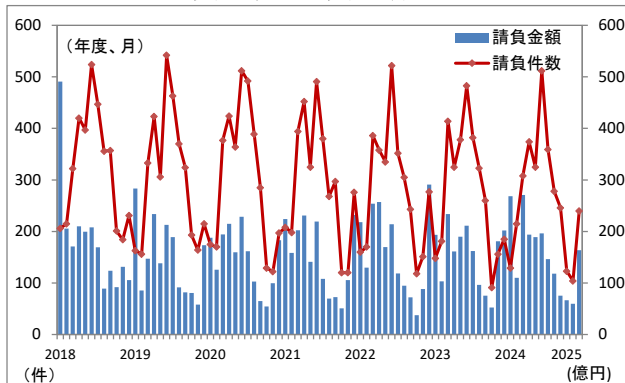
資料：国土交通省「建築着工統計調査」

10. 公共投資

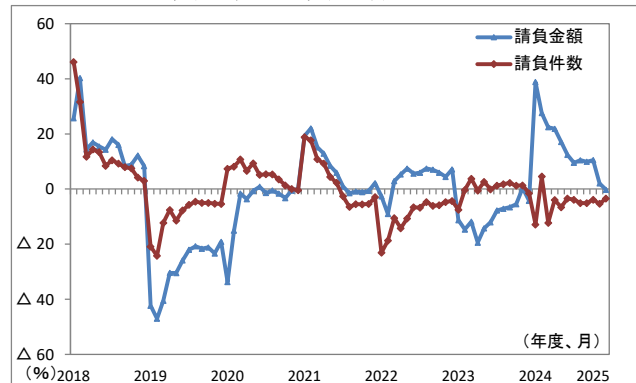
【現状】 <持ち直しに足踏みがみられる>

- 3月の公共工事請負件数は前年比+29.7%の増加、請負金額は△19.1%の減少となった。24年4月からの年度累計請負金額では、前年比△0.2%の減少となった。
- 年度累計請負金額について、発注者別にみると、市(+11.0%)、日本下水道事業団(+89.2%)、県企業庁(+16.8%)などは増加したが、町(△24.1%)、国土交通省(△7.5%)、中日本高速道路(株)(△7.7%)などが減少した。工事場所別では、桑名市、鈴鹿市、南伊勢町などは増加したが、明和町、四日市市、志摩市などが減少した。

■公共工事請負件数・請負金額



■公共工事請負件数・請負金額 (年度累計・前年比)



※前払金保証取扱高 (工事場所ベース：工事場所が三重県であったもの)

※発注者：国、独立行政法人、県、市町、地方公社、その他

資料：東日本建設業保証(株)

<トピックス>

- ◆ 尾鷲市は3月28日、養殖技術開発を手掛けるADジャパン(東京)と、中部電力尾鷲三田火力発電所跡地でのエビの陸上養殖場建設に関する立地協定を締結。同社は韓国に本社を置く養殖会社の日本法人で、日本では尾鷲市の養殖場が初の拠点となる。2026年1月着工、2026年9月稼働開始予定で、2027年には年間200tの生産を目指す。将来的には、アジア最大規模となる年間最大600tまで生産拡張を見込む。
- ◆ シャープ(株)(大阪)は3月31日、多気町にあるシャープ三重事業所第1工場の売買契約をアオイ電子(株)(香川)と締結したと発表。売却額は非公表。今回の売却は、未利用・低利用の工場の活用・売却などを進め、ブランド事業を中心とした体制への構造転換を進める取組の一環。アオイ電子は半導体を最終製品として組み立てる「後工程」の生産ラインを構築し、2027年度の本格稼働を目指す。シャープは、子会社であり中小型ディスプレイ事業を担うシャープディスプレイテクノロジー(株)を通じて、半導体後工程生産ラインの構築に協力する。アオイ電子の事業展開を踏まえ、同事業所の第2工場の譲渡も検討する方針。
- ◆ TC神鋼不動産(株)(兵庫)は4月1日、鈴鹿市伊船町にAS-LOGIシリーズ第6弾となる「AS-LOGI鈴鹿」を2025年4月に着工すると発表。同施設は中部圏では初の開発で、2026年3月に竣工予定。延べ床面積は10,961㎡。東名阪自動車道鈴鹿ICや新名神高速道鈴鹿PAまでのアクセスも良く、主要エリアの名古屋に加え、県北中部への小口配送に適した立地となっている。また、新名神高速・名阪国道等の複数ルートから大阪方面への広域集配拠点としても期待されている。

三重県主要経済指標

	景気動向指数C I (先行) (2020年=100)			景気動向指数C I (一致) (2020年=100)			業況判断BSI (年度半年)			業況判断BSI (年度四半)			鉱工業生産指数 (2020年=100)			鉱工業在庫指数 (2020年=100)		
		前月差			前月差		製造業	非製造業				*1 *2	前月比	*1 *2	前月比			
2022年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	105.5	0.8	92.6	5.3				
2023年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.3	△ 4.9	93.9	1.4				
2024年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.5	0.2	85.6	△ 8.8				
23年6月	r 118.3	△ 0.1	r 118.5	2.7	△ 0.7	△ 2.3	2.4	△ 6.1	99.7	0.5	96.3	△ 0.3						
7月	r 117.1	△ 1.2	r 116.4	△ 2.1				△ 0.9	100.4	0.7	94.6	△ 1.8						
8月	r 117.6	0.5	r 116.5	0.1					100.1	△ 0.3	96.3	1.8						
9月	r 116.7	△ 0.9	r 117.6	1.1					98.9	△ 1.2	91.5	△ 5.0						
10月	r 114.4	△ 2.3	r 116.7	△ 0.9					101.3	2.4	89.4	△ 2.3						
11月	r 113.1	△ 1.3	r 117.3	0.6					100.8	△ 0.5	89.8	0.4						
12月	r 115.5	2.4	r 118.1	0.8	6.6	5.8	8.0	△ 2.6	104.0	3.2	90.9	1.2						
24年1月	r 113.4	△ 2.1	r 114.5	△ 3.6					95.5	△ 8.2	85.7	△ 5.7						
2月	r 110.1	△ 3.3	r 111.2	△ 3.3					85.1	△ 10.9	82.4	△ 3.9						
3月	r 111.7	1.6	r 114.6	3.4					91.5	7.5	82.7	0.4						
4月	r 114.2	2.5	r 118.9	4.3					100.3	9.6	82.1	△ 0.7						
5月	r 116.9	2.7	r 121.8	2.9					113.8	13.5	82.8	0.9						
6月	r 116.0	△ 0.9	r 118.1	△ 3.7	△ 4.6	△ 13.6	3.9	△ 4.9	100.8	△ 11.4	86.4	4.3						
7月	r 117.3	1.3	r 118.0	△ 0.1					103.5	2.7	83.2	△ 3.7						
8月	r 115.6	△ 1.7	r 118.6	0.6				2.5	105.2	1.6	89.2	7.2						
9月	r 115.2	△ 0.4	r 116.7	△ 1.9					104.5	△ 0.7	92.7	3.9						
10月	r 116.2	1.0	r 117.7	1.0					103.7	△ 0.8	85.4	△ 7.9						
11月	r 114.5	△ 1.7	r 114.4	△ 3.3				1.7	98.1	△ 5.4	87.3	2.2						
12月	r 116.7	2.2	r 116.9	2.5	△ 5.9	△ 16.1	3.1		100.9	2.9	87.8	0.6						
25年1月	r 118.1	1.4	r 114.2	△ 2.7					94.6	△ 6.2	83.0	△ 5.5						
2月	—	—	—	—					99.3	5.0	83.1	0.1						
3月	—	—	—	—					—	—	—	—						

資料出所 三重県政策企画部統計課 百五総合研究所 津財務事務所 三重県政策企画部統計課

	輸出 (億円)		輸入 (億円)		貨物車販売				非居住用建築物 着工床面積		企業倒産 *4	
	*3	前年比	*3	前年比	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(㎡)	前年比	件数(件)	負債額(百万円)
2022年	11,034	21.3	26,489	65.0	5,222	△ 3.4	9,111	13.0	786,825	0.5	65	13,716
2023年	11,246	1.9	24,470	△ 7.6	5,207	△ 0.3	8,650	△ 5.1	553,076	△ 29.7	130	12,435
2024年	11,481	2.1	25,205	3.0	4,451	△ 14.5	7,332	△ 15.2	573,926	3.8	135	19,309
23年6月	948	1.0	1,725	△ 19.4	466	2.0	557	△ 10.7	59,112	19.8	12	662
7月	937	△ 2.6	1,665	△ 28.8	394	7.4	553	△ 23.7	45,619	△ 63.5	16	916
8月	961	6.4	1,939	△ 35.1	429	26.5	644	△ 5.3	23,042	△ 60.0	4	150
9月	1,051	1.1	1,987	△ 25.9	569	27.3	779	△ 14.8	39,258	51.5	11	1,282
10月	1,272	27.2	2,104	△ 5.4	441	1.4	755	△ 13.9	43,266	△ 43.7	13	1,127
11月	1,043	17.7	2,383	19.0	448	△ 3.9	797	△ 11.1	34,599	△ 36.8	12	2,353
12月	1,109	34.0	2,451	3.8	433	△ 11.8	788	21.8	38,168	10.1	13	643
24年1月	879	11.7	1,975	△ 9.4	337	△ 2.9	532	△ 29.5	35,675	△ 32.2	7	392
2月	932	27.1	2,004	△ 4.8	272	△ 40.1	427	△ 46.3	19,562	△ 66.4	12	873
3月	947	13.6	2,020	△ 11.1	412	△ 26.2	605	△ 32.2	88,449	122.5	11	1,251
4月	1,063	37.0	2,323	14.7	305	△ 5.3	566	△ 24.8	22,946	△ 63.3	10	4,416
5月	931	17.0	2,160	32.4	326	△ 5.8	535	△ 8.1	58,849	3.3	12	3,592
6月	944	△ 0.4	1,998	15.8	420	△ 9.9	687	23.3	29,853	△ 49.5	9	444
7月	936	△ 0.2	2,183	31.1	498	26.4	630	13.9	63,846	40.0	12	1,389
8月	905	△ 5.8	2,295	18.3	395	△ 7.9	614	△ 4.7	59,064	156.3	18	2,024
9月	887	△ 15.6	2,046	3.0	432	△ 24.1	748	△ 4.0	60,903	55.1	8	951
10月	1,029	△ 19.1	1,945	△ 7.6	387	△ 12.2	796	5.4	40,800	△ 5.7	11	1,170
11月	958	△ 8.1	1,854	△ 22.2	315	△ 29.7	686	△ 13.9	79,862	130.8	10	1,304
12月	1,070	△ 3.5	2,401	△ 2.0	352	△ 18.7	506	△ 35.8	14,117	△ 63.0	15	1,503
25年1月	833	△ 5.3	r 2,182	10.5	298	△ 11.6	527	△ 0.9	46,562	30.5	11	535
2月	917	△ 1.6	r 2,126	6.1	394	44.9	591	38.4	21,364	9.2	11	8,158
3月	945	△ 0.3	p 1,929	△ 4.5	517	25.5	629	4.0	—	—	11	284

資料出所 四日市税関支署(四日市港、津港の合計) 三重県自動車販売協会 三重県軽自動車協会 国土交通省 株式会社東京商工リサーチ

	常用雇用指数 *5				有効				新規求人 倍率		名目賃金指数 *5 (現金給与総額)	
	調査産業計 (2020年=100)		製造業 (2020年=100)		求人倍率 *1*2 (倍)	求人数 *6 (人)	前年比	求職者数 *6 (人)	前年比	*1*2 (倍)	(2020年=100)	前年比 *11
2022年	100.4	△ 0.0	98.0	—	1.39	34,157	13.2	24,514	△ 2.5	2.30	101.2	△ 0.7
2023年	102.9	2.5	98.6	—	1.31	32,153	△ 5.9	24,563	0.2	2.08	101.8	0.6
2024年	104.7	1.7	98.0	—	1.17	29,560	△ 8.1	25,167	2.5	1.94	106.4	4.5
23年6月	103.1	3.2	98.7	—	1.31	31,290	△ 6.6	26,038	1.2	2.13	141.6	10.1
7月	103.7	3.3	99.0	—	1.28	30,970	△ 6.1	25,025	3.9	2.01	120.6	△ 5.3
8月	103.4	2.8	98.4	—	1.27	30,716	△ 7.8	24,769	3.8	2.03	86.5	△ 0.5
9月	103.8	3.4	98.6	—	1.28	31,168	△ 8.3	24,690	3.3	2.12	85.2	1.7
10月	103.7	2.7	98.2	—	1.27	31,780	△ 8.4	24,830	2.4	2.09	87.2	2.6
11月	103.5	2.6	98.3	—	1.26	31,699	△ 9.5	23,925	1.5	1.99	92.7	2.9
12月	104.0	1.8	97.6	—	1.25	30,906	△ 8.4	22,666	3.2	2.01	173.0	0.3
24年1月	104.1	2.6	96.9	—	1.25	31,403	△ 7.3	23,050	4.1	2.05	86.8	△ 1.0
2月	104.0	2.6	97.0	—	1.23	32,069	△ 8.2	24,181	2.5	1.88	87.5	0.6
3月	103.7	2.5	96.8	—	1.22	31,549	△ 9.3	25,072	0.3	1.98	89.3	△ 1.3
4月	104.7	1.7	98.3	△ 1.4	1.20	30,121	△ 7.2	26,833	3.8	2.07	88.7	0.0
5月	104.7	1.6	98.1	△ 0.8	1.19	29,170	△ 6.7	27,207	3.7	1.90	89.9	3.3
6月	104.9	1.7	97.9	△ 0.8	1.16	28,462	△ 9.0	26,675	2.4	1.91	154.1	7.5
7月	105.4	1.6	98.8	△ 0.2	1.16	28,612	△ 7.6	25,821	3.2	2.03	126.5	3.7
8月	105.0	1.5	98.6	0.2	1.16	28,287	△ 7.9	24,991	0.9	2.01	89.7	2.0
9月	104.5	0.7	98.4	△ 0.2	1.14	28,452	△ 8.7	25,089	1.6	1.80	88.4	2.3
10月	104.8	1.1	98.7	0.5	1.15	29,272	△ 7.9	25,475	2.6	2.04	89.7	1.4
11月	105.1	1.5	98.7	0.4	1.13	28,948	△ 8.7	24,534	2.5	1.80	95.4	2.1
12月	105.1	1.1	97.4	△ 0.2	1.13	28,378	△ 8.2	23,070	1.8	1.89	190.6	8.2
25年1月	104.8	0.7	96.5	△ 0.4	1.14	29,204	△ 7.0	23,373	1.4	2.13	88.2	1.6
2月	—	—	—	—	1.17	30,604	△ 4.6	24,243	0.3	2.01	—	—
3月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

資料出所 三重県政策企画部統計課 三重労働局職業安定課 三重県政策企画部統計課

*1:月別の数値は季節調整済値 *2:年数値については原指数、前年比 *3:2017年1月から、四日市港には四日市税関支署尾鷲出張所の通関分を含む。
 *4:負債額1千万円以上 *5:事業所規模5人以上 *6:年数値は年間の月平均 *7:既存店とは当月及び前年同月とも調査対象となった事業所
 *8:前年(度、同期、同月)比増減率はギャップを調整するリンク係数で処理した数値で計算している
 *9:「家計調査」により津市において調査した世帯(単身世帯を除く)の1か月間の家計消費の状況(平均)。標本数が少ないため標本誤差が大きく、前年や全国の結果との比較の際には注意が必要。
 *10:官公庁工事請負額の年数値は年度計

三重県主要経済指標

	所定外労働時間指数 *5				百貨店・スーパー販売額		乗用車販売				消費支出 *9	
	調査産業計		製造業		*7 *8 (百万円)	前年比 (既存店)	普通+小型(新車登録台数)		軽(新車販売台数)		(津市、二人以上の世帯のうち 勤労者世帯)	
	(2020年=100)	前年比 *11	(2020年=100)	前年比 *11			(台)	前年比	(台)	前年比	(円)	前年比
2022年	109.1	0.5	124.9	4.2	308,628	1.0	42,059	△ 7.6	28,780	0.2	308,219	△ 4.5
2023年	96.3	△ 11.8	111.8	△ 10.5	311,883	0.3	48,492	15.3	31,028	7.8	372,845	21.0
2024年	98.4	2.2	108.9	—	—	1.1	46,394	△ 4.3	27,595	△ 11.1	303,304	△ 18.7
23年 6月	94.2	△ 12.5	109.8	△ 9.4	25,048	0.1	3,863	25.1	2,321	0.7	373,956	44.9
7月	95.2	△ 9.2	113.6	△ 8.5	26,755	2.1	3,909	14.4	2,174	△ 8.2	290,877	△ 13.2
8月	88.5	△ 13.2	108.3	△ 11.7	27,010	1.7	3,476	21.2	2,097	14.3	343,250	22.3
9月	94.2	△ 7.6	115.2	△ 1.9	24,778	△ 1.1	4,341	14.3	2,798	7.5	315,999	13.1
10月	95.2	△ 12.4	113.6	△ 5.7	25,979	0.6	3,991	14.1	2,728	12.2	429,752	46.8
11月	96.2	△ 9.8	118.9	△ 6.6	25,832	0.4	4,040	9.1	2,673	4.5	357,713	30.4
12月	93.3	△ 12.6	111.4	△ 8.7	30,556	△ 1.2	3,827	12.9	2,391	△ 4.1	364,779	5.7
24年 1月	92.3	△ 15.8	104.5	△ 4.8	27,002	△ 0.1	3,615	△ 5.2	2,379	△ 18.1	279,701	△ 33.7
2月	93.3	△ 5.8	106.1	△ 10.8	24,472	2.5	3,807	△ 14.2	2,325	△ 23.0	327,768	18.6
3月	99.0	△ 5.5	110.6	△ 1.3	25,629	4.0	4,851	△ 22.3	2,472	△ 29.6	383,931	△ 37.6
4月	100.0	△ 1.0	113.6	2.0	24,722	△ 0.7	3,398	△ 0.4	1,824	△ 18.8	266,437	△ 37.6
5月	89.4	△ 3.1	100.8	△ 2.1	25,292	△ 1.9	3,224	2.8	1,826	△ 15.8	290,563	12.9
6月	98.1	3.0	106.8	△ 4.1	25,599	2.9	3,954	2.4	2,202	△ 5.1	264,947	△ 29.2
7月	102.9	6.0	110.6	△ 4.6	26,204	△ 1.4	4,259	9.0	2,619	20.5	309,537	6.4
8月	91.3	0.0	102.3	△ 6.8	27,935	4.0	3,221	△ 7.3	2,062	△ 1.7	326,660	△ 4.8
9月	101.0	5.0	109.1	△ 6.5	24,727	0.6	4,310	△ 0.7	2,967	6.0	254,631	△ 19.4
10月	107.7	10.9	114.4	△ 0.7	25,350	△ 1.5	4,233	6.1	2,341	△ 14.2	319,472	△ 25.7
11月	104.8	6.8	116.7	△ 3.2	26,301	2.9	4,210	4.2	2,355	△ 11.9	311,963	△ 12.8
12月	101.0	6.1	111.4	△ 1.3	30,950	2.1	3,312	△ 13.5	2,223	△ 7.0	304,039	△ 16.7
25年 1月	95.2	3.1	103.8	△ 0.7	27,313	2.2	4,167	15.3	2,650	11.4	325,085	16.2
2月	—	—	—	—	24,445	△ 0.1	4,514	18.6	3,082	32.6	345,750	5.5
3月	—	—	—	—	—	—	5,032	3.7	3,038	22.9	—	—
資料出所	三重県政策企画部統計課				経済産業省		三重県自動車販売協会		三重県軽自動車協会		総務省統計局	

	新設住宅着工戸数		公共工事請負金額		消費者物価指数			
	(戸)		(億円)		(津市・生鮮食品を除く総合)		(津市・生鮮食品及び エネルギーを除く総合)	
	前年比		*10	前年度比	(2020年=100)	前年比	(2020年=100)	前年比
2022年	9,912	△ 2.9	1,945	7.1	102.2	2.3	100.6	0.9
2023年	9,224	△ 6.9	1,862	△ 4.2	105.0	2.7	104.1	3.5
2024年	7,751	△ 16.0	1,858	△ 0.2	107.4	2.2	106.4	2.2
23年 6月	839	△ 18.5	234	△ 7.9	104.7	2.8	104.0	3.7
7月	752	△ 27.8	161	△ 37.2	105.4	2.9	104.7	3.9
8月	883	△ 12.8	190	11.9	105.4	2.2	104.7	3.3
9月	908	6.0	211	△ 1.2	105.4	2.1	104.8	3.4
10月	733	△ 11.6	162	36.8	105.8	2.0	105.0	3.1
11月	638	△ 14.7	96	1.9	105.7	1.7	105.1	3.0
12月	720	23.9	75	4.2	105.8	1.4	105.2	2.9
24年 1月	757	1.3	52	38.7	106.0	1.5	105.4	3.0
2月	501	△ 29.2	181	105.0	106.1	2.1	105.4	2.8
3月	635	△ 20.9	202	△ 30.6	106.2	1.8	105.5	2.3
4月	610	△ 15.9	268	38.8	106.8	1.8	106.1	2.2
5月	674	△ 12.2	110	6.5	107.0	2.2	106.0	2.1
6月	675	△ 19.5	271	15.9	107.2	2.3	105.9	1.9
7月	732	△ 2.7	194	20.1	107.6	2.1	106.2	1.4
8月	701	△ 20.6	189	△ 0.4	108.0	2.5	106.7	1.9
9月	663	△ 27.0	196	△ 7.2	107.4	1.9	106.7	1.8
10月	645	△ 12.0	146	△ 9.9	108.1	2.1	107.3	2.2
11月	634	△ 0.6	118	22.6	108.6	2.8	107.7	2.5
12月	524	△ 27.2	75	0.0	109.1	3.1	107.9	2.6
25年 1月	718	△ 5.2	67	27.3	109.0	2.7	107.6	2.1
2月	575	14.8	60	△ 67.0	109.1	2.8	108.0	2.5
3月	—	—	163	△ 19.1	109.6	3.2	108.5	2.9
資料出所	国土交通省		東日本建設業保証株		総務省統計局			